

高知県感染症発生動向調査（週報）

2014年 第10週（3月3日～3月9日）

★お知らせ

○高知県内で初の耐性インフルエンザウイルスを確認！

高知県で1月に採取されたインフルエンザウイルスの検体のうち、抗インフルエンザウイルス薬であるオセルタミビル（商品名：タミフル）及びピラミビル（商品名：ラピアクタ）に耐性を持つAH1pdm09型が検出されました。今回の耐性ウイルスについてザナミビル（商品名：リレンザ）とラニナミビル（商品名：イナビル）に対する感受性は低下していませんでした。薬剤耐性のインフルエンザウイルスは、これまでのところ症状に違いはありませんので、通常のインフルエンザと同様に手洗い、うがい及び咳エチケットの感染予防をしてください。

薬剤耐性インフルエンザウイルスの検出について：高知県健康対策課

(<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130401/taisei-inhuru.html>)

○インフルエンザに注意して！

定点医療機関からの報告は前週の21.54から17.92に減少しましたが、県全域では引き続き注意報値を超えています。迅速検査はインフルエンザA型69%、B型31%となっており、B型の割合が前週より増えています。また、感染症情報収集システムでは学年・学級閉鎖は4校報告されています。感染力が大変強いので今後も手洗い、うがい及び咳エチケットの感染予防をしてください。

○流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）に注意して！

定点医療機関からの報告は1.87と減少しましたが、須崎福祉保健所管内では引き続き注意報値を超えています。この病気は、2～3週間の潜伏期を経て、片側あるいは両側の唾液腺の腫脹・圧痛、嚥下痛、発熱を主症状として発症し、通常1～2週間で軽快します。接触、あるいは飛沫感染で伝播し、その感染力は強い一方、感染しても症状が現れない不顕性感染が30～35%あります。合併症として髄膜炎、脳炎、肺炎、難聴などがみられ、成人男性には睾丸炎、成人女子には卵巣炎がみられることもあります。予防のため、患者も周囲の人もよく手を洗い、唾液がつく可能性があるタオルは別にしましょう。ワクチンの予防接種がありますが、任意接種になりますので、かかりつけ医と相談してください。

★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患） ：急増 ：増加 ：横ばい ：減少 ：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
インフルエンザ		17.92	幡多で増加したが、全体では減少している。県全域及び幡多、中央西、高知市、中央東では注意報値を超えている。
感染性胃腸炎		4.93	安芸、幡多では増加したが全体では減少している。
流行性耳下腺炎		1.87	高知市、中央西、幡多で増加している。須崎では引き続き注意報値を超えている。
水痘		1.30	幡多、高知市、須崎で増加している。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.70	安芸、高知市、幡多で増加している。

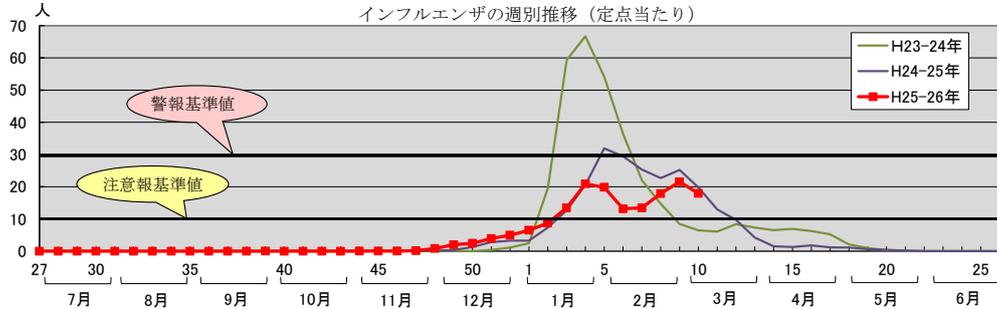
★地域別感染症発生状況



★気をつけて！

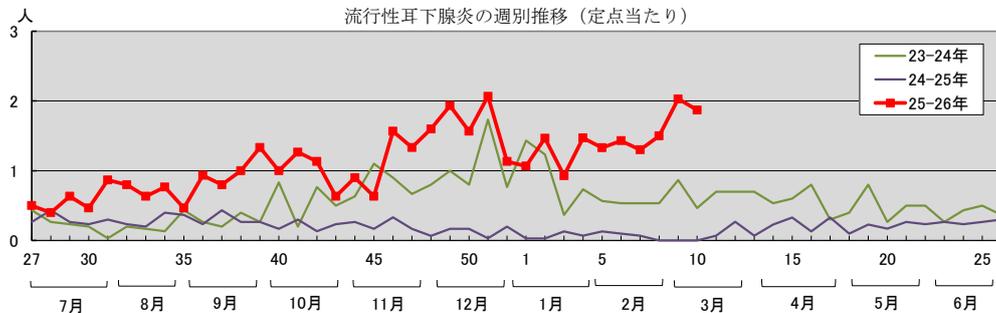
○インフルエンザ：17.92（注意報値：10.00 警報値：30.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 17.92（前週：21.54）と減少しましたが、引き続き注意報値を超えています。地域別にみると、幡多（27.75：前週 19.25）で増加し、幡多、中央西（23.20：前週 32.60）高知市（19.81：前週 28.81）中央東（12.82：前週 14.55）では引き続き注意報値を超えています。病原体定点の検体からは Influenza virus AH1pdm09 が 5 例、Influenza virus B NT が 4 例、Influenza virus B /Yamagata が 2 例検出されています。



○流行性耳下腺炎：1.87（注意報値：3.00 警報値：6.00）

定点医療機関からの報告は定点当たり 1.87（前週：2.03）と減少しています。地域別にみると、高知市（2.91：前週 2.73）中央西（2.33：前週 1.67）幡多（1.00：前週 0.60）で増加し、須崎（3.00：前週 4.50）では 4 週連続注意報値を超えています。



★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
10	インフルエンザ	8	男	高知市	Influenza virus A H1pdm09
10	インフルエンザ	6	男	高知市	Influenza virus B NT Influenza virus A H1pdm09
10	インフルエンザ	8	女	高知市	Influenza virus A H1pdm09
10	インフルエンザ	37	男	須崎	Influenza virus A H1pdm09
10	インフルエンザ	6	女	中央東	Influenza virus A H3 NT
10	インフルエンザ	7	男	高知市	Influenza virus B NT
10	インフルエンザ	36	女	須崎	Influenza virus B NT
10	インフルエンザ	13	男	須崎	Influenza virus B NT
10	感染性胃腸炎	9ヶ月	女	中央西	Norovirus GII NT
10	感染性胃腸炎	2	男	須崎	Norovirus GII NT
10	感染性胃腸炎	6	男	須崎	Norovirus GII NT
10	感染性胃腸炎	10ヶ月	男	高知市	Rotavirus group A G3
10	感染性胃腸炎	1	女	須崎	Sapovirus genogroup unknown
10	マイコプラズマ	13	男	中央東	Mycoplasma pneumoniae

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
7	咽頭結膜炎	2	女	須崎	Adenovirus 5
8	インフルエンザ	12	男	高知市	Influenza virus B/Yamagata※
9	咽頭結膜炎	1	女	幡多	Adenovirus 3
9	下気道炎	5	男	幡多	Human metapneumovirus
9	インフルエンザ	2	男	須崎	Influenza virus A H1pdm09
9	インフルエンザ	6	男	須崎	Influenza virus B/Yamagata

※8週に受付し、PCR検査で検出したものを分離培養したものです。

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2類	結 核	2	22	80歳代（女）	中央東
				80歳代（女）	幡 多
5類	急性脳炎	1	1	5～9歳代（女）	中央東
	破傷風	1	1	50歳代（女）	高知市

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
安 芸	田野病院小児科	アデノウイルス咽頭扁桃炎 1例（5歳男）
中央東	あけぼの小児科クリニック	キャンピロバクター腸炎 2例（6、11歳の姉妹） マイコプラズマ感染症 1例（13歳：LAMP法陽性） インフルエンザ A型 10例、B型 16例
	JA 高知病院小児科	おたふく 1例（8歳女：南国市）
	野市中央病院小児科	インフルエンザ A型 4例 （2、7歳男、2、10歳女：全員ワクチン未接種） インフルエンザ B型 1例（6歳女：ワクチン未接種）
	早明浦病院小児科	アデノウイルス感染症 2例（3、5歳女） 流行性耳下腺炎 2例（5歳男 2人） インフルエンザ B型 4例（10～14歳）
	いちはら内科小児科	インフルエンザ A型 24例（男 15人、女 9人） インフルエンザ B型 7例（男 2人、女 5人）
高知市	けら小児科・アレルギー科	アデノウイルス扁桃炎 2例（0歳女、4歳男） マイコプラズマ肺炎 2例 （6歳女、9歳男：2人とも迅速診断陽性） ヘルペス性歯肉口内炎 1例（3歳女）
	高知医療センター小児科	RSウイルス感染症 1例（8ヶ月女） ノロウイルス 3例（2、4歳男、6歳女） ロタウイルス 2例（1歳男女）
	福井小児科・内科・循環器科	インフルエンザ A型 12例、B型 5例
	細木病院小児科	ノロウイルス 5例（2歳 2人、7歳 2人男、1歳女）
中央西	くぼたこどもクリニック	感染性胃腸炎 1例（5歳女：愛媛県上浮穴郡）
須 崎	もりはた小児科	インフルエンザ 15例 （A型：7例、内 5例 AH1、B型：7例、A.B.型 1例）
幡 多	さたけ小児科	ノロウイルス感染症 1例（1歳女）

★全国情報

第7週（2/10～2/16）

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核355例

3類感染症：細菌性赤痢1例、腸管出血性大腸菌感染症6例

4類感染症：E型肝炎2例、A型肝炎15例、つつが虫病2例、デング熱3例、日本紅斑熱3例、マラリア2例、レジオネラ症21例

5類感染症：アメーバ赤痢10例、ウイルス性肝炎2例、急性脳炎2例、クロイツフェルト・ヤコブ病3例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例、後天性免疫不全症候群15例、梅毒16例、破傷風1例

侵襲性インフルエンザ菌感染症1例、侵襲性肺炎球菌感染症20例、風しん12例、麻しん12例

報告遅れ：E型肝炎2例、エキノコックス症2例、デング熱1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例、侵襲性髄膜炎菌感染症1例、急性脳炎6例

★2013年第48週～2014年第8週の麻しん発生状況

麻しんの2014年第1～8週（2013年12月30日～2014年2月23日に診断されたもの）の累積報告数は119例であり、昨年同時期の3.3倍である。2014年の麻しんウイルスの遺伝子型は83例で報告されている（2014年2月28日現在）。

2013年第48週～2014年第8週（2013年11月25日～2014年2月23日）に診断された麻しん（2014年3月4日集計）は139例であり、前年同時期の48例の2.9倍であった。性別では男性73例、女性66例であり、平均年齢は15.2歳（中央値11歳、4カ月～51歳）であった。2014年第8週には麻しん脳炎が1例報告された。遺伝子型別が判明したものが75例含まれ、B3型72例、D8型2例、D9型1例であった。

この間の都道府県別の報告数は京都府25例、千葉県17例、東京都16例、埼玉県14例、神奈川県12例、愛知県11例、広島県9例、兵庫県8例、大阪府6例、岡山県4例、茨城県、宮崎県各3例、静岡県、山口県、福岡県各2例、新潟県、長野県、三重県、滋賀県、沖縄県各1例であった。感染地域は国内が90例（65%）、国内または国外（フィリピン）が1例（1%）、不明1例（1%）であり、国外が47例（34%：フィリピン38例、インドネシア、スリランカ各2例、インド、オーストラリア、グアム、米国、ベトナム/マレーシア各1例）と報告され、フィリピンが最多であった。ワクチン接種歴別報告数では、139例中接種歴のない、または不明の症例が114例（82%）であった。

麻しん報告数は2013年第48週以降増加傾向が続いている。2014年第4週までは海外からの輸入症例の割合が高かったが、その後国内感染例の割合が高い。感染地として海外が推定されていた症例の、2013年第1～47週の割合は7.6%（16/210）であったが、2013年第48週～2014年第4週では41%（28/68）に増加し、2014年第5～8週は27%（19/71）と低下した。これは、一旦輸入例として入ってきた麻しんウイルスが、地域によっては国内流行しつつあることを示唆しており、憂慮される状況である。医療機関内での感染が疑われる症例が、少なくとも7例報告されている。

麻しんは、年齢にかかわらず命に関わる重篤な感染症である。また、特異的な治療法はないものの、予防接種で予防可能な感染症である。我が国は2012年までの麻しん排除を国としての目標に掲げ、2007～2008年頃の10代を中心とする患者発生の状況から約97%の減少を達成し、2015年の麻しん排除認定の取得を次の目標としている。今後も海外からの輸入例への監視を行うと共に、輸入例からの国内高次感染に対する警戒が重要である。そのためには、「一例出たらすぐ対応」の原則に則った迅速な疫学調査の実施が鍵であるとともに、感受性者、特に定期接種（1歳、小学校就学前1年間）対象者における麻しん含有ワクチン（原則として麻しん風しん混合ワクチン）接種の徹底が必要である。また、医療従事者や教育・福祉関係者において、2回の麻しん風しん混合ワクチン接種を受けていない方においては、その方自身の生命の危険を回避するためにも、任意接種であってもワクチン接種の実施が推奨される。海外への渡航者は、自分のワクチン接種歴を確認の上、必要なワクチン接種を行い、麻しんウイルス（混合ワクチンにより風しんウイルスも）を日本へ持ち込まないことが大切である。

今後は、医療機関における発熱・発疹者に対する聞き取りの工夫として、麻しんが発生している国への渡航歴や麻しん様患者との接触歴、予防接種歴などの確認を慎重に行うことが望まれるのみならず、国内で麻しん患者の報告がある地域においては特に、医療機関における院内感染対策の徹底が重要である。発熱・発疹などの麻しん様患者との接触がある方が、麻しんを疑われる体調不良を自覚した場合には、二次感染防止のため、麻しんの疑いがあることを予め医療機関に電話で伝えた上で受診することが望ましい。空気感染によって伝播し、重症度も高い、しかしワクチンにより予防可能な麻しんが再び国内で流行しつつあることへの厳重な警戒をお願いしたい。

（国立感染症研究所感染症疫学センター）

.....

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第10週 平成26年3月3日(月)～平成26年3月9日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第10週					計	前週	全国(9週)	高知県(10週末累計)		全国(9週末累計)	
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎				幡多	H25/12/30～H26/3/9		H25/12/30～H26/3/2
インフルエンザ	インフルエンザ		31	141	317	116	33	222	860 (17.92)	1,034 (21.54)	140,739 (28.44)	7,359 (153.31)	959,098 (195.38)	
小児科	咽頭結核熱							1	2	3 (0.10)	5 (0.17)	1,183 (0.37)	50 (1.67)	10,866 (3.48)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2		10			7	2	21 (0.70)	19 (0.63)	7,222 (2.29)	164 (5.47)	51,687 (16.53)
	感染性胃腸炎		11	18	85	5	4	25	148 (4.93)	223 (7.43)	21,397 (6.78)	3,265 (108.83)	238,370 (76.25)	
	水痘		6	2	17			2	12	39 (1.30)	23 (0.77)	3,159 (1.00)	334 (11.13)	35,168 (11.25)
	手足口病									()	()	274 (0.09)	11 (0.37)	2,785 (0.89)
	伝染性紅斑									()	()	381 (0.12)	7 (0.23)	2,953 (0.94)
	突発性発疹		1		5	1	1			8 (0.27)	12 (0.40)	1,367 (0.43)	95 (3.17)	11,301 (3.62)
	百日咳				1					1 (0.03)	()	32 (0.01)	2 (0.07)	219 (0.07)
	ヘルパンギーナ									()	()	60 (0.02)	1 (0.03)	440 (0.14)
	流行性耳下腺炎			6	32	7	6	5	56 (1.87)	61 (2.03)	705 (0.22)	432 (14.40)	6,108 (1.95)	
RSウイルス感染症				2	2			3	7 (0.23)	6 (0.20)	1,015 (0.32)	247 (8.23)	15,309 (4.90)	
眼科	急性出血性結膜炎								()	()	10 (0.01)	()	62 (0.09)	
	流行性角結膜炎								()	()	307 (0.45)	4 (1.33)	3,294 (4.87)	
基幹	細菌性髄膜炎			1					1 (0.13)	()	5 (0.01)	3 (0.38)	65 (0.14)	
	無菌性髄膜炎								()	1 (0.13)	10 (0.02)	4 (0.50)	130 (0.28)	
	マイコプラズマ肺炎		2	2					4 (0.50)	3 (0.38)	121 (0.26)	25 (3.13)	920 (1.95)	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								()	()	10 (0.02)	2 (0.25)	79 (0.17)	
	感染性胃腸炎			2					2 (0.25)	3 (0.38)	85 (0.18)	16 (2.00)	518 (1.10)	
計(小児科定点当たり人数)		51 (17.75)	169 (16.54)	474 (33.63)	131 (28.20)	54 (18.75)	271 (37.55)	1,150 (27.35)		178,082	12,021 (306.91)	1,339,372		
前週(小児科定点当たり人数)		52 (16.00)	217 (22.54)	673 (47.55)	187 (40.60)	83 (27.50)	178 (24.05)		1,387 (33.17)					

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関)定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第10週					計	前週	全国(9週)	高知県(10週末累計)		全国(9週末累計)
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎				幡多	H25/12/30～H26/3/9	
インフルエンザ	インフルエンザ		7.75	12.82	19.81	23.20	8.25	27.75	17.92	21.54	28.44	153.31	195.38
小児科	咽頭結核熱							0.10	0.17	0.37	1.67	3.48	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.00		0.91			0.40	0.70	0.63	2.29	5.47	16.53
	感染性胃腸炎		5.50	2.57	7.73	1.67	2.00	5.00	4.93	7.43	6.78	108.83	76.25
	水痘		3.00	0.29	1.55		1.00	2.40	1.30	0.77	1.00	11.13	11.25
	手足口病										0.09	0.37	0.89
	伝染性紅斑										0.12	0.23	0.94
	突発性発疹		0.50		0.45	0.33	0.50		0.27	0.40	0.43	3.17	3.62
	百日咳				0.09				0.03		0.01	0.07	0.07
	ヘルパンギーナ										0.02	0.03	0.14
	流行性耳下腺炎			0.86	2.91	2.33	3.00	1.00	1.87	2.03	0.22	14.40	1.95
RSウイルス感染症				0.18	0.67		0.60	0.23	0.20	0.32	8.23	4.90	
眼科	急性出血性結膜炎										0.01	0.09	
	流行性角結膜炎										0.45	1.33	4.87
基幹	細菌性髄膜炎				0.20				0.13		0.01	0.38	0.14
	無菌性髄膜炎								0.13		0.02	0.50	0.28
	マイコプラズマ肺炎		2.00	0.40				0.50	0.38		0.26	3.13	1.95
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)										0.02	0.25	0.17
	感染性胃腸炎			0.40				0.25	0.38		0.18	2.00	1.10
計(小児科定点当たり人数)		17.75	16.54	33.63	28.20	18.75	37.55	27.35			306.91		
前週(小児科定点当たり人数)		16.00	22.54	47.55	40.60	27.50	24.05		33.17				

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869